

# ヒアリングシート

氏名 \_\_\_\_\_ 様

以下の事項につきまして、お分かりの範囲内で結構ですのでご記載をお願い申し上げます。

## 1. 発症の時期につきまして

最初に症状が現れたのはいつ頃ですか？ → 【 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 頃 】

最初にどのような症状（異変）がありましたか？

.....

.....

## 2. 発症から現在までの通院歴につきまして

※ 最初に症状が現れて病院を受診した時点から記載願います。（病名が確定した以降ではありません！）

また、可能な限り最初の病院の初診日につきましては医療機関様へのご確認をお願い申し上げます。

医療機関名	通院されていた期間	治療の概要や入院の有無、通院の頻度など (転院の場合、その理由や紹介状の有無もご記載願います)
例) ○○内科 (和歌山市××町)	例) 2015年5月1日 ～2015年5月6日	例) ～(症状)を訴えて受診。◎◎検査にて△△病の疑いありと告げられ、 精密検査のため□□総合病院へ紹介状を書いてもらい転院となりました。

3. 発症から現在までの就労歴につきまして

職 種	就労されていた期間	仕事内容や、傷病の仕事への影響など (休職期間がある場合、その期間もご記載願います)
例) 経理事務員 (○×株式会社)	例) 1999年4月1日 ~2016年2月1日	例) 発症時は会社の経理部門で勤務。2015年5月~7月まで入院・手術のため休職。その後復職しましたが、仕事も~(症状)があつて…(業務内容)に支障があり、早退や欠勤を繰り返しました。2016年1月より再び休職。復職の見込みがなく同月末で退職しました。

※ 足りない場合は任意の用紙にご記載願います

4. その他全般的事項

・現在の病名 : 【 \_\_\_\_\_ 】

⇒ (精神疾患の場合のみ) ICD-10 コード 【 \_\_\_\_\_ 】 ※ 可能な限り医療機関にご確認ください。

・通院の頻度 : 【 年に ・ 月に ・ 週に 】 \_\_\_\_\_ 回 程度

現在の症状や普段の過ごし方、通院・服薬状況、ご家族等からの援助内容などにつきましてご記載願います。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご記入、ありがとうございました

## 日常生活アンケート（4 ページ中 1 ページ目）

氏名： \_\_\_\_\_

現在の私の日常生活の状況は以下のとおりです。

診断書のご作成にあたり、ご参照いただけますよう宜しくお願い申し上げます。

- ① 選択肢のうち、最も近いものに「○」をつけてください。
- ② 箇条書きなどでも構いませんので、なるべく具体的な状況をご記載願います。

### 1. 食事をとる（食事の用意も含みます）

<input type="radio"/>	できる	自分自身で食事の用意（調理）をしたり、栄養のバランスを考えたりして決まった時間に決まった量の食事をきちんととることができる。
<input type="radio"/>	自発的にできるが、時には助言や指導を必要とする	だいたい自分で食事の用意をしたり、栄養のバランスを考えて食事をとったりできるものの、ときどき食事が偏ったり、不規則になってしまったりする。
<input type="radio"/>	自発的かつ適正に行うことはできないが助言や指導があればできる	一人では食事を食べようとしなかったり、食事内容が偏ったり、調理ができなかったりしてしまうため、基本的には家族など周囲の人間が援助しなければならない。
<input type="radio"/>	助言や指導をしてもできないもしくは行わない	一人では適正に食事をとることができず、援助がなければ本人の健康に害を生じてしまうため、常に家族など周囲の人間が食事に目を配らなければならない。
【具体的な状況をご記載下さい。】		

### 2. 身の回りや部屋の中を清潔にする

<input type="radio"/>	できる	自分できちんと洗面、入浴、ひげそり、着替えなどを毎日きちんとできる。同じく、定期的な部屋の掃除、散髪などができる。季節や状況に合った服装ができる。
<input type="radio"/>	自発的にできるが、時には助言や指導を必要とする	だいたい自分でできるものの、体調不良などにより週1回程度の割合でできないことがある。部屋の掃除なども、乱雑にならない程度にはできる。
<input type="radio"/>	自発的かつ適正に行うことはできないが助言や指導があればできる	週に複数回の割合で洗面、入浴、ひげそり、着替えなどができず、家族など周囲からの声かけが必要である。一人では部屋も乱雑になってしまう。
<input type="radio"/>	助言や指導をしてもできないもしくは行わない	家族など周囲からの声かけがあっても、身の回りや家の中を清潔に保つことができない。
【具体的な状況をご記載下さい。】		

## 日常生活アンケート（4 ページ中 2 ページ目）

主治医先生に診断書をご記載頂いたり、弊所で請求書類を作成する際の資料となります。  
お手数ではございますが、現在の状況につきましてご記載をお願い申し上げます。

- ① 選択肢のうち、最も近いものに「○」をつけてください。
- ② 箇条書きなどでも構いませんので、なるべく具体的な状況をご記載願います。

### 3. お金を管理する・買い物をする

<input type="radio"/>	できる	自分自身できちんと1ヶ月単位でお金を管理・計算できる。また、過度に浪費したりすることなくきちんと計画を立てて生活必需品を買い揃えることができる。
<input type="radio"/>	おおむねできるが、時には助言や指導を必要とする	あるていどは自分で管理できるものの、たまに浪費してしまったり、生活必需品を切らしてしまったりするため、ときどき（1週間単位で）援助が必要である。
<input type="radio"/>	助言や指導があればできる	ある程度の計算はできるものの、一人では金銭の管理が難しいため、数日おきに必要なお金をまとめて渡す、あるいは買い物に付き合うなどの援助が必要である。
<input type="radio"/>	助言や指導をしてもできない もしくは行わない	計算も含めてお金の管理ができないため、必要な時に必要なお金を渡す、という形を取るなど、家族など周囲が金銭を完全に管理しなければならない。
【具体的な状況をご記載下さい。】		

### 4. 通院する・薬を服用する





<input type="radio"/>	できる	一人で決まった日、決まった時間にきちんと通院できる。また、決められた回数や量を守ってきちんと薬を服用できる。医師にきちんと病状を伝えることができる。
<input type="radio"/>	おおむねできるが、時には助言や指導を必要とする	ある程度は自分から通院したり、薬を服用しようとしたりするが、時々一人では通院できなかったり、あるいは薬の飲み忘れが発生してしまう。
<input type="radio"/>	助言や指導があればできる	しばしば通院できなかったり、または通院に付き添いが必要である。薬の飲み忘れが頻繁に発生したり、薬の大量服用（オーバードーズ）を起こしてしまったりする。
<input type="radio"/>	助言や指導をしてもできない もしくは行わない	家族の付き添いがあっても決まった日に受診できない、あるいは自身で医師に病状を伝えることができない。薬を拒絶したり、家族が指導しても大量服薬を起こす。
【具体的な状況をご記載下さい。】		

## 日常生活アンケート（4 ページ中 3 ページ目）





主治医先生に診断書をご記載頂いたり、弊所で請求書類を作成する際の資料となります。  
お手数ではございますが、現在の状況につきましてご記載をお願い申し上げます。

- ① 選択肢のうち、最も近いものに「○」をつけてください。
- ② 箇条書きなどでも構いませんので、なるべく具体的な状況をご記載願います。

### 5. 周囲とコミュニケーションをとる

	できる	近所付き合い、役所窓口での対応、家族や知人との交流など、社会生活を営む上で最低限の交流を行うことができ、周囲との関係を構築したり、維持したりできる。
	おおむねできるが、時には助言や指導を必要とする	周囲と挨拶を交わしたり、訪問者や電話への対応はできるものの、自らコミュニケーションを行うことは難しい。あるいは、不適切な言動が見られる。
	助言や指導があればできる	自ら言葉を発する機会は少ない、あるいは状況に合わせた発言ができないなどの理由から、親しい人間でなければ本人の考えを理解することが難しい。
	助言や指導をしてもできない もしくは行わない	ほとんど言葉を発しないか、あるいは適正を欠く言動が多いため、親しい人間であっても本人の考えや欲求などを理解することが難しい。
【具体的な状況をご記載下さい。】		

### 6. 危険な状況を認識する・災害などに対応する（救助を求めることも含みます）





	できる	火を止める、刃物をしまう、交通ルールを守るなど、危険を認識して対応できる。あるいは、災害など通常と異なる出来事が起こった際でも一人で対応できる。
	おおむねできるが、時には助言や指導を必要とする	おおむね一人でできるものの、たまに危険な状況を認識できなかったり、対応できなかったりする。あるいは、災害などに一人で対応できない可能性がある。
	助言や指導があればできる	一人では危険な状況の認識が難しく、例として外出時に付き添いが必要である。あるいは、災害時にパニックになってしまうなど、一人で対応できない可能性が高い。
	助言や指導をしてもできない もしくは行わない	危険な状況の認識が難しく、常に誰かの見守りを必要としている。あるいは、災害時に一人では全く対応できないため、周囲の援助を絶対的に必要とする。
【具体的な状況をご記載下さい。】		

## 日常生活アンケート（4 ページ中 4 ページ目）






主治医先生に診断書をご記載頂いたり、弊所で請求書類を作成する際の資料となります。  
お手数ではございますが、現在の状況につきましてご記載をお願い申し上げます。

- ① 選択肢のうち、最も近いものに「○」をつけてください。
- ② 箇条書きなどでも構いませんので、なるべく具体的な状況をご記載願います。

### 7. 社会生活を営む（役所などでの手続き、公共交通機関の利用など）

	できる	社会生活に必要な役所、銀行、郵便局などでのさまざまな手続きが一人でできる。また、必要に応じて一人で公共交通機関を使った移動ができる。
	おおむねできるが、時には助言や指導を必要とする	ある程度は自分でできるものの、時々手助けが必要である。あるいは、やや複雑であったり、何回も足を運ばないといけない手続きができないことがある。
	助言や指導があればできる	多くの場合、役所などでの手続きや、公共交通機関の利用は一人でできないが、付き添いなど適切な援助があれば自分自身で行うことができる。
	助言や指導をしてもできない もしくは行わない	役所などでの手続きや、公共交通機関の利用については付き添いなど適切な援助があったとしてもできないため、他の人間に代わってもらわなければならない。
【具体的な状況をご記載下さい。】		

### 【まとめ】現在の日常生活の状態

	精神障害はあるものの、 社会生活は普通にできている	精神障害を持たない人（あるいは、精神障害を発症する前の自分自身）と同じように <b>援助がなくても一般的な水準の日常生活を送ることができる。</b>
	家の中では普通に過ごせるが、 社会生活には援助が必要である。	日常的な家事など、家の中では普通に過ごすことができる。一人で外出しての活動などもある程度はできるが、 <b>時々、日常生活を送る上で何らかの援助が必要である。</b>
	社会生活を送ることはやや難しい。 身の回りの世話など、家の中での最低限の活動は可能である。	行きなれた病院、近所のコンビニなど、一人で外出できる場所が決まっている。あるいは、他者との交流に何らかの問題を抱えている。最低限の身の回りの世話（食事をとる、身だしなみを整える、適切に服薬するなど）は一人でもある程度行うことが可能で、 <b>かろうじて一人で生活を送ることができる状態である。</b>
	身の回りの世話など、家の中での最低限の活動についても多くの援助が必要である。	適正にコミュニケーションを取ることができず、交流は家族程度に限られる。あるいは最低限の身の回りの世話でも多くは家族など周囲の援助が必要など、 <b>全般的に見て「援助がない状態で健康的な生活を送る」ということが難しい状態である。</b>
	身の回りの世話などもほとんどできないため、常時見守りを行わなければならない。	援助・見守りがいない状態では自身の身に危害が及ぶ（健康を害する）状態である、あるいは周囲との意思疎通がほとんど成立しないなどの理由から、 <b>常に家族など周囲の人間が付き添っていないと行けない状態である。</b>

以上、ご参照いただけますようお願い申し上げます。